

ムサビの教員が選ぶ

美大生におすすめの本

Recommended books for art students.

映像学科

高谷智子専任講師

『「話の話」の話：

アニメーターの旅ユーリー・ノルシュテイン』

クレア・キッソン 著，小原信利 訳，未知谷，2008

ロシアの切り絵アニメーション作家・ユーリー・ノルシュテインを理解するために必須の一冊。タイトルになっている『話の話』はノルシュテインの代表作のひとつ。幼少期の断片的なイメージが散りばめられた映像詩は、どのような思考とプロセスで制作されたのか。作品をつくるひとにとって大切な、作家の人生と作品の関係について理解を深めることができる本。

以下は本編から抜粋。

「これら全ては、とても単純なプロットに集約されるかもしれませんが、でも、特別なプロットなのです。アコーディオンを左右に動かして広げるようなプロットで、最後にはすべては一つの、やさしい言葉「私たちは生きている」にイメージが結ばれます。なぜなら、私たちの子供時代は、戦争の終わりにやって来たからです。私たちは、幸せとは何かを、永遠に記憶しなければならないのです。」

